

N

F

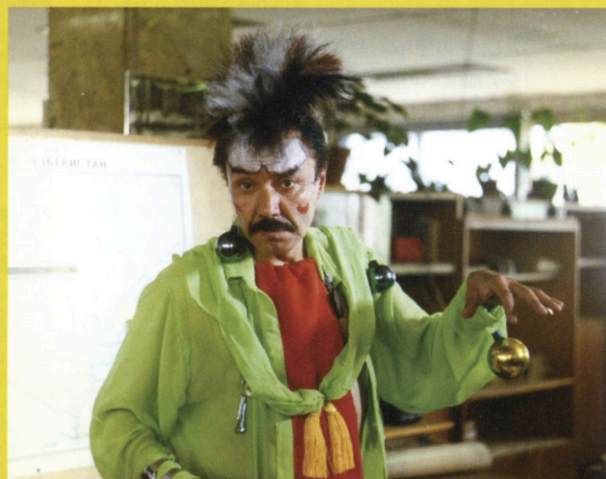
C

NFC CALENDAR

日本・ウズベキスタン国交樹立15周年記念

ウズベキスタン映画祭

Uzbekistan Film Festival



大ホール(2階)

日本・ウズベキスタン国交樹立15周年記念

ウズベキスタン映画祭

Uzbekistan Film Festival

9月27日(土) - 10月7日(日)

主催=東京国立近代美術館フィルムセンター

ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金

協力=ウズベキスタン映画祭実行委員会

福岡市総合図書館

後援=駐日ウズベキスタン共和国大使館

助成=国際交流基金

10月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

2007

10

NFCカレンダー
2007年10月号

大ホール 上映作品

日本・ウズベキスタン
国交樹立15周年記念
ウズベキスタン映画祭
Uzbekistan Film Festival

シルクロードのほぼ中央に位置し、中央アジア第一の大都市タシケント、そしてサマルカンドやブハラ、ヒヴァなど優美なイスラーム建築に彩られた都市を擁するウズベキスタンは、1991年にソ連からの独立を果たし、その翌年には日本との国交を樹立して、中央アジア地域への関心の高まりとともに日本でも近年ますますその注目の度を増しています。

また、ソ連時代(ウズベク共和国)から国営のウズベクフィルムによる映画製作が盛んで、独立後に公開されたSF映画『UFO少年アブドラジャン』(1992年)が日本でも人気を博したウズベキスタンは、カザフスタンと並ぶ中央アジア映画の拠点とも言えるでしょう。現在も、ズルフィカル・ムサコフ、ユスフ・ラジコフといった監督が精力的に活躍を続け、ウズベク民族の歴史と伝統、そして現代ウズベク社会の変貌をフィルムに刻み込んでいます。

この「ウズベキスタン映画祭」は、ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金との共催により、ソ連時代の名作、独立後の作品に、参考上映作品を加えた計11本を集めて上映するもので、フィルムセンターとしては中央アジア地域の映画を紹介する初の上映企画となります。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

■(監)＝監督 (原)＝原作 (脚)＝脚本・脚色 (撮)＝撮影 (美)＝美術 (音)＝音楽 (出)＝出演

■上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。

■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。

1 9/27(木)7:00pm 10/6(土)1:00pm

UFO少年アブドラジャン

(88分・35mm・カラー)

Абдулладжан, или посвящается Стивену Спилбергу

まるで鋼のような奇妙な円盤に乗って地球に落ちてきた少年が、ある平凡な一家に引き取られ、やがて巨大なスイカを実らせるなど村に数々の奇跡を起こすが…。ウズベキスタン国民の半数以上が鑑賞したと言われるSFファンタジーで、いたって素朴な特撮技術と、人物たちの愛すべきキャラクターに基づく大らかな笑いが特徴である。『E.T.』のステイヴン・スピルバーグ監督に語りかける形式のナレーションも微笑ましい。[配給:パンドラ]

'92(ヴァタン) (監)ズルフィカル・ムサコフ (脚)リフシヴォイ・ムハメジャーノフ (原)タルガト・マンサーロフ (脚)ハムザ・ハジクローフ (脚)ミルハリル・マフムードフ (脚)トッチ・ユスポフ、ラジャブ・アダーシェフ、ミルホシル・オリポフ、シュフラト・カユモフ、ウラジーミル・メニシヨフ、ウラジーミル・ツヴェトフ

2 9/28(金)3:00pm 10/6(土)4:00pm

I WISH…(108分・35mm・カラー)

Я хочу…

劇場の経理係サディクは、ごく平凡な暮らしを送っていた。悲観的な人物で奇跡など信じていなかったが、あるとき突然、念じたことがかなう奇跡を起こす能力が自分にあることを知る。そして、友人の俳優にハムレット役を演じさせることにするが、無理に起こした奇跡は、二人を思いがけない窮地へと追い込むことになる。ムサコフ監督独特のユーモアがあふれた作品で、日本のNHKとの共同製作。[フィルム提供: NHKエンタープライズ、協力: (財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)]

'97(プライド・スタジオ=NHK) (監)ズルフィカル・ムサコフ (脚)ナジミディン・グリアーモフ (脚)バブル・イスマイロフ (脚)ミルハリル・マフムードフ (脚)ルスタム・サグドゥラーエフ、バフティヨル・ザキーロフ、エレナ・ロバコ、ナジム・トゥラフジャエフ、バトゥル・ハリコフ、リフシヴォイ・アリエフ

3 9/28(金)7:00pm 10/7(日)1:00pm

演説者(83分・35mm・カラー)

Voiz

ロシア革命前、イスラームの結婚戒律に従って3人の妻を持った荷馬車ひきのイस्कンデルは、逃走中の革命家たちをかまいった。革命後、以前助けた革命家たちと再会したイस्कンデルは、演説の才能を見出されてアジテーターとなる。長い演説旅行から故郷へ帰ると、ムスリム女性の解放運動の最中で、一夫多妻も許されず、イस्कンデルは妻たちとの離婚を求められる。1991年にデビューした、独立後の世代を代表するラジコフ監督の第3作。初主演のアドイロフの本職は、映画監督・プロデューサー。ベルリンやロッテルダムなど西欧の主要な映画祭にも招待され、日本では「ウズベキスタン映画祭2002」および同年のアジアフォーカス・福岡映画祭で上映された。[フィルム提供: 福岡市総合図書館]

'99(ウズベクキノ) (監)ユスフ・ラジコフ (脚)ウルクベク・ハムラーエフ (脚)ダニエル・アブドラマノフ (脚)ドミトリー・ヤノフ・ヤノフスキー (脚)バハティル・アディロフ、ローラ・エルエフ、ジャヴァヒール・ザキーロフ、シヨフサナム・ハムラクーロフ、アサル・アリホジャーエフ

4 9/27(木)3:00pm 10/7(日)4:00pm

オイジョン(母)(76分・35mm・カラー)

Oyijon

母をなくした少女ナルギスは、美しいモスクで知られる古都サマルカンドで、母にそっくりな日本人女性ケイコと出会う。ケイコは子供ができないことに悩んでおり、ナルギスを自分の娘にしようと日本に招待する。サマルカンドとはまったく違う日本の風物を楽しんでふれながらも、ナルギスは望郷の念をつのらせる。サマルカンドと東京を舞台に、親子の愛情と国境を越えて深まる絆を描く。『I WISH…』で日本との共同製作を経験したムサコフ監督が、国際交流基金の助成と日本側スタッフの全面協力を得て撮ったもので、ウズベキスタン映画で初めて日本ロケを敢行した作品。「ウズベキスタン映画祭2002」で上映されたが、日本語字幕つきの上映は今回が初めてとなる。

2001(ウズベクフィルム) (監)ズルフィカル・ムサコフ、バハティル・アディロフ (脚)アブドラヒム・イスマイロフ、アブドゥラヒド・ガニエフ (脚)イリーナ・リトヴィネンコ (脚)アンヴァル・エルガシエフ (脚)秋尾沙戸子、青島健太、ファランギス・ジャマルハノフ、バフロム・マトジャノフ

5 9/29(土)1:00pm 10/4(木)7:00pm

男が踊るとき(75分・35mm・カラー)

Dilhiroj

幼少の頃から約束されたカップルだと予言されながら、適齢期になっても家族の不幸や兵役などの問題でなかなか結婚にたどり着かない男女を、ウズベクの伝統文化や牧歌的な生活の中に描いたラジコフ監督の第5作。原題の「ディルヒロジ」はウズベク族の男の踊りの総称で、二人が結婚に至るまでの様々な場面で登場している。ウズベキスタンの中でも、多様な民族の独自の伝統文化が残っているボイスン地方でロケが行われている。2005年のアジアフォーカス・福岡映画祭に出品されたが、東京での上映は初めて。[フィルム提供: 福岡市総合図書館]

2002(ウズベクキノ) (監)ユスフ・ラジコフ (脚)エルキン・アザム (脚)ハタム・ファイジエフ (脚)バブル・イスマイロフ (脚)ジャムシエド・イザモフ (脚)アリシエル・ハムラーエフ、セヴィンチ・ムミノフ、トッチ・ユスポフ、ザキル・ムハメジャーノフ



I WISH…



演説者



オイジョン(母)



男が踊るとき

◆ソ連時代の名作選

6 9/29(土)4:00pm 10/3(水)7:00pm

雨はやさしく…(10分・35mm・カラー)

Будет ласковый дождь

朝7時、機械が朝食を用意して食卓に並べる。しかし、その食卓につくべき人間の家族たちの姿はない…。米国の作家ブラッドベリの短篇SF「優しく雨ぞ降りしきる」をもとに、核兵器とオートメーション化がもたらす不気味な未来を映像化したアニメーション。

'84(ウズベクフィルム)◎ナジム・トゥラフジャエフ◎レイ・ブラッドベリ◎ウラジーミル・ニキーチン◎セルゲイ・アリベコフ◎フェリクス・ヤノフ=ヤノフスキー

トルクシブ (56分・24fps・35mm・白黒・無声)

シベリア鉄道をトルキスタン(現在の中央アジア地域)と結ぶ支線トルクシブ鉄道の建設をめぐるソ連の煽動宣伝映画。1930年の完工目標に向けて、トルキスタンの産物とロシアの穀物とを交換輸送する意義、建設に向けての一致団結を説き、集団労働への力感あふれる讃歌にもなっている。「本当のドキュメンタリーに対するソビエト的アプローチを明らかにした」(ポール・ローサ)とも称された、世界ドキュメンタリー映画史の揺るぎない古典である。なお、建設場面は主として現在のカザフスタン領内だが、トルキスタンにおける重要な生産活動として、ウズベク人による綿花栽培が登場する。

'29(ヴォストークキ)◎ヴィクトル・トゥーリン◎ヤコフ・アロン、ヴィクトル・シクロフスキー◎ボリス・フランツォン、エヴゲニー・スラヴィンスキー



トルクシブ



タシケントはパンの町



恋するものたち

7 9/30(日)1:00pm 10/3(水)3:00pm

タシケントはパンの町

(85分・35mm・白黒)

Ташкент – город хлебный

ロシア革命後の国内戦の時期、未曾有の飢饉に面したヴォルガ河一帯の人々は、中央アジア穀倉地帯の豊かな町タシケントの噂を聞いて旅立った。少年ミーシカも家族のためタシケントへ向かい、さまざまな道中の苦難を乗り越えてたどり着き、ぶどう園で働く。しかし、穀物を持って故郷へ戻った少年を待ち受けていたのはつらい現実だった。原作は作者の実体験をもとにした児童文学で、1923年に発表されて人気を博した。中央アジアでの劇映画製作が本格化した60年代の代表的作品の一つであり、若き日のロシアの名監督アンドレイ・ミハルコフ=コンチャロフスキーが脚本を手がけ、少年のたくましい姿を描いている。[フィルム提供:ロシア映画社]

'68(ウズベクフィルム)◎シュフラト・アッパーソフ◎アレクサンドル・ネヴェーロフ◎アンドレイ・ミハルコフ=コンチャロフスキー◎ハタム・ファイジエフ◎エモヌエル・カラタロフ◎アリベルト・マラーホフ◎ウラジーミル・ヴォロベイ、ウラジーミル・クデンコフ、パフティヨル・ナビエフ、ナターリヤ・アリンバサロワ、ニコライ・チモフェエフ

8 9/30(日)4:00pm 10/5(金)3:00pm

恋するものたち(83分・35mm・白黒)

Влюбленные

タシケントの寮に住むロージンは、ターニヤと相思相愛の仲だった。しかし、ロージンは出張で留守がちなため、ターニヤはほかの男性とも付き合うようになる。ある日、ターニヤの住まいを訪れたロージンは、ターニヤのもう一人の恋人と鉢合わせする。一方、ロージンと同室のタソスはギリシャ人で、祖国へ戻り、母と妹を見つける。脚本家自身とその周辺の人びとの実際のエピソードをもとに、自由な雰囲気にあふれる60年代タシケントの青春群像を描き出したメロドラマ。[フィルム提供:ロシア映画社]

'69(ウズベクフィルム)◎エリヨル・イシムハドフ◎オデリシヤ・アギシェフ◎ガサン・トクトノフ◎マゴメト・チョチエフ、サドリディン・ジヤムハドフ◎ボグダン・トロツク◎ロジオン・ナハバートフ、アナスタシヤ・ヴェルチンスカヤ、ルスタム・サグドゥラエフ、ギョザル・アバナエフ、カレン・ハチャトゥリアン、ロフジャン・アグザモフ、エヴゲニー・グーロフ

9 10/2(火)3:00pm 10/5(金)7:00pm

ブハラ大公の秘密の旅

(87分・35mm・カラー)

Тайное путешествие эмира

ロシア帝国支配下にあるブハラ・ハン国の後継者アリムハン大公は、羊飼いの娘ネタイの可憐さに心を奪われるが、自分のものにできずにいる。折しもロシア帝国に革命の機運高まる20世紀初頭、大公はロシア皇帝の支援をおおぐため極秘で旅路につくが、ネタイの家の近くで政敵から襲撃され、ネタイの両親も殺される。生き延びて孤児となったネタイは、娼館の主人に誘拐され、大公の妾となることを拒んで悲運の最期を遂げる。ウズベク映画に新風を吹き込んだダヴレトシム監督の第1作。

'86(ウズベクフィルム)◎ファド・ダヴレトシム◎ガフル・グラム◎ボリス・サーコフ◎ユーリー・リュブシン◎イーゴリ・グレンコ◎フェリクス・ヤノフ=ヤノフスキー◎グリナラ・アブドゥラフマノワ、イワン・アガフォノフ、ガリーナ・ヤツキナ、シュフラト・エルガシエフ、ムラド・ラジャボフ、エルキン・カミロフ

◆参考上映

10 10/2(火)7:00pm 10/4(木)3:00pm

ドラゴンヘッド(122分・35mm・カラー)

望月峯太郎の人気漫画を原作に、天変地異による鉄道事故を生き残った3人の少年少女が、廃墟となった大地をさまよいつつ東京を目指すというパニック大作。純粋な日本映画だが、ウズベキスタン政府の協力のもと、全篇が2か月にわたるウズベキスタンでのロケーションで撮影されており、破壊されたJR渋谷駅のセットなどにあえて「中央アジアに構築された日本」を見る楽しみもある。トンネル事故に遭った新幹線の車両も、国立の鉄工所で組み立てられた精巧なものである。[配給:東宝]

2003(TBS=電通=アミューズビクチャーズ=東宝=TKOY FM=毎日新聞社=WOWOW=カルチュア・パブリッシャーズ=スポーツニッポン=ツインズジャパン)◎飯田譲治◎望月峯太郎◎NAKA雅MURA、斉藤ひろし◎林淳一郎◎丸尾知行◎池頼良◎妻夫木聡、SAYAKA、山田孝之、藤木直人、近藤芳正、根津甚八、寺田農、谷津勲、大川翔太、吉岡祥仁、松重豊、奥貫薫、嶋田久作

展示室(7階)

[企画展]

スチル写真でみる

日本の映画女優[第3期]

Japanese Film Actress

— from the NFC still photo collection —

フィルムセンターが所蔵するスチル写真、プロマイドなどで見る日本の映画女優。3期にわたっての開催となります。



京マチ子



藤純子

[常設展]

展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

8月21日◎-10月21日◎

開室=休館日以外の火曜日-日曜日

(午前11時-午後6時30分/入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/

大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/

中学生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料も含まれます。

* ()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

*フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

月	火	水	木	金	土	日
9月	特集・逝ける映画人を偲んで 2004-2006 (7月27日~)		4 3:00pm オイジョン(母) (76分)	2 3:00pm I WISH... (108分)	5 1:00pm 男が踊るとき (75分)	7 1:00pm タシケントはパンの町 (85分)
			1 7:00pm UFO少年アブドラジャン (88分)	3 7:00pm 演説者 (83分)	6 7:00pm 雨はやさしく... トゥルクシブ (計66分)	8 4:00pm 恋するものたち (83分)
10月	9 3:00pm ブハラ大公の秘密の旅 (87分)	7 3:00pm タシケントはパンの町 (85分)	10 3:00pm ドラゴンヘッド (122分)	8 3:00pm 恋するものたち (83分)	1 1:00pm UFO少年アブドラジャン (88分)	3 1:00pm 演説者 (83分)
	10 7:00pm ドラゴンヘッド (122分)	6 7:00pm 雨はやさしく... トゥルクシブ (計66分)	5 7:00pm 男が踊るとき (75分)	9 7:00pm ブハラ大公の秘密の旅 (87分)	2 7:00pm I WISH... (108分)	4 4:00pm オイジョン(母) (76分)



ドラゴンヘッド

Atomic
Assets
Advisers
ATOMIC投資顧問 株式会社



小ホール(地下1階)

ポーランド短篇映画選
ウッチ映画大学の軌跡

Polish Short Film Selection:
Masterpieces of the Łódź Film School

9月18日(火)〜9月30日(日)

定員=小ホール 151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。
- 詳細は当該チラシをご覧ください。

スウェーデン・ドキュメンタリー新作選

Swedish Documentary Now

主催=東京国立近代美術館フィルムセンター、スウェーデン文化交流協会、スウェーデン映画協会

協力=スウェーデン大使館

10月27日(土)〜11月4日(日) *10月29日(月)は休館

定員=小ホール 151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。
- 詳細は当該チラシをご覧ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

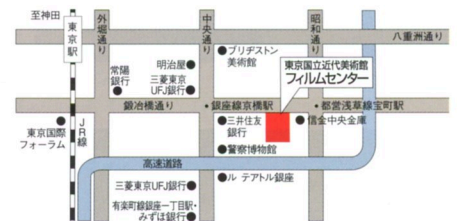
図書室(4階)

開室=火曜日〜土曜日(午後0時30分〜午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

